

令和
6年度

COMPASS 発達支援センター観音寺

事業所における自己評価総括表(公表)

○事業所名	COMPASS 発達支援センター観音寺
○保護者評価実施期間	令和6年9月9日～令和6年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 30名 (回答者数) 30名
○従業者評価実施期間	令和6年9月9日～令和6年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 8名 (回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月15日

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士や5年以上の経験をもつ保育士、児童指導員などの専門職が療育支援に関わっております。	日々の療育の様子や保護者様からのアセスメントを基に、個々に応じた専門的支援実施計画書を作成し、支援を行っております。各専門職の視点から、児童の状況やペースに寄り添った支援を行っております。	今後も、児童一人ひとりの興味や課題に合わせた支援プログラムや教材の充実を図ってまいります。
2	児童の発達状況に応じた、きめ細かい個別支援および集団での支援を行っております。	障害(知的・情緒など)別、発達支援に応じた個別支援(学習・トレーニング)を実施しており、集団活動では異年齢の交流を通じて、運動遊び・ゲーム・創作活動などに組み込みながら、ルールを守る力やコミュニケーション力の育成を図っております。	今後も、子ども同士の関わりの場や機会を多く設け、自主性や主体性を引き出せるよう支援してまいります。
3	保護者様との情報共有や、悩み・困りごとに寄り添った支援の提供を行っております。	家族支援や事業所内での相談を通じて、日々の困りごとを気軽に相談しやすい雰囲気づくりを心がけ、児童の状況や課題を保護者様と共有できるようにしております。保護者様から寄せられた相談内容は職員間で共有し、支援につなげております。また、経過や達成状況については随時保護者様にお伝えし、安心してご利用いただけるよう努めております。	お話をする機会が少ないご家庭に対しては、保護者様が話しやすい時間帯や相談の方法について検討してまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族会や保護者様同士の交流の機会がありません。	必要性を感じているご家庭が少なく、通常の療育を行いながらどのように開催するかが明確でない状況です。	今後は、必要性を感じていないご家庭にも興味を持っていただけるような行事・企画を提案し、ごきょうだいも一緒に楽しめるイベントを企画することで、気軽に参加できる交流の場を設けてまいります。
2	地域との交流の機会がありません。	外部とのトラブルを回避するため、現在は事業所単体での活動が中心となっております。	今後は、地域の消防署や民生委員との交流の機会を設け、事業所の行事や訓練への参加を依頼することで、事業所のことを近隣の方々に知っていただく機会を作ってまいります。
3	活動スペースは確保できているものの、更衣や児童のがクールダウンするために対応できる個別のスペースが不足しています。	落ち着いた環境で過ごす必要がある児童もいることから、個別のスペースが求められています。	部屋を仕切るためのパーテーションの購入を検討し、状況に応じて仕切りを活用することで、柔軟に環境設定を行ってまいります。